

## 5. 竹原市景観 17 選受賞写真

自然景観（6 作品）

撮影場所：竹原町（鎮海山城跡への山道で撮影）



「鎮海山城跡への山道」竹林といえば小吹ですが、竹小側から登る鎮海山にも「かぐや姫」が現れそうな趣のある竹林があります。（2012. 1. 2 撮影）

撮影場所：高崎町 豊山窯上



1. 太陽が大久野島の鉄塔を冠をかぶった状態を撮る
2. 阿波島と小島を結ぶ島のすそが出る潮位が大切
3. 雰囲気盛り上げるための船が必要で又、その位置
4. 当日の天候が晴天であること

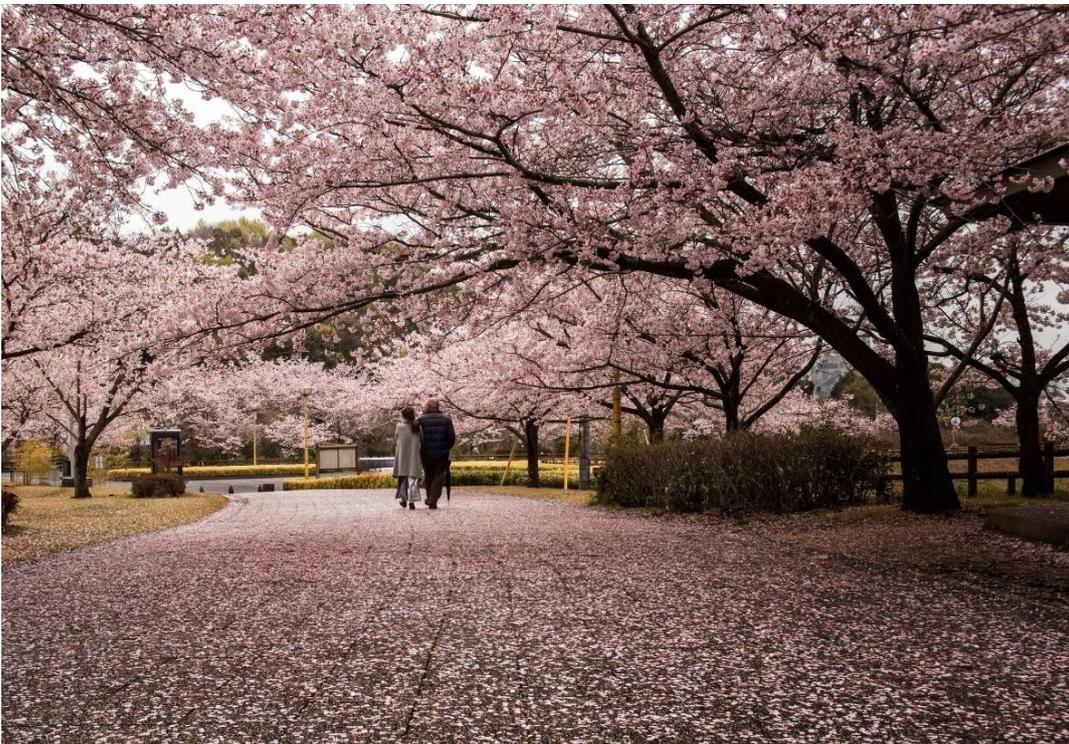
この4つの条件が整うのは非常に難しく、1枚の写真を撮るのに3年かかりました

撮影場所：築地海岸



ハチの干潟の夜明けです。今は今年の豪雨で流木が散見されます。

撮影場所：バンブー公園



バンブー公園の桜の季節は昼間と夜間に見る景色が各々違った趣があります。

撮影場所：忠海町 黒滝山



黒滝山の頂上から見る忠海の町並みと海と山

撮影場所：港町



旧佐々木ホテル近くからの夕景です。

歴史文化景観（8 作品）

撮影場所：大久野島



「戦争と平和」戦争の傷跡が残る遺構が島の彼方此方に存在していますが、島内を伸び伸びと走り回るウサギ達に癒されながら戦争と平和について考えさせられます。

撮影場所：本町



「ふたり旅」西方寺山門からの雪景色です。今は参道南側の家がなくなり残念です。

撮影場所：町並み保存地区



古い町並みが夕暮れと共に、両側には、竹明かりがともりその中で、石畳みの上を夫婦で楽しく歩く姿は、むつまじくなごやかさを感じる1枚であります。

撮影場所：普明閣周辺



竹原のシンボルと言われている普明閣。普明閣から眺める竹原の町の光景は古い時代にタイムスリップした様な錯覚に陥ります。

撮影場所：本町



笠井邸 2 階からの雪の町並みです

撮影場所：普明閣の境内から



「普明閣」自他共に認める代表的な景観といえるのが普明閣です。竹小時代はここが遊び場で、4時半と5時のサイレン、広銀のコガネムシが流れる夕方まで普明閣で友達と遊んでいました。(1988. 9. 15 撮影)

撮影場所：福田のしし舞い



毎年10月に行われます。小学5年生のたいこに合わせて、獅子舞が行われます。

撮影場所：忠海東 神明祭



竹や木で組まれた飾りつけをした「神明さん」を引き回し、夕方に火を点ける伝統的な火祭り。他の地区では見られない祭りです。

都市景観（3 作品）

撮影場所：吉名町 松本煉瓦付近



「落日」吉名町は明治時代から煉瓦の製造で栄え、今でもその姿を残しています。日没前の工場夕景は絶景です。

撮影場所：築地海岸



「軍艦島の夏」8月13日の大崎上島の花火は契島の後方に上がります

撮影場所：忠海町東町 二窓港の駐車場から



「二窓呉線カーブ」呉線がメディアで扱われる際に必ず登場するのが二窓呉線カーブの景観です。架線や線路付近でのドローン撮影は御法度なので一番近い二窓港から撮影してみました。(2014. 8. 12 撮影)

### ■ 竹原市景観 17 選の選定経緯

竹原市景観17選の公募

【応募期間】 令和元年 10 月 7 日～12 月 27 日

【応募数】 199 作品

1次審査  
(一般投票)

【審査員】 市民及び観光客等

【投票期間】 令和 2 年 9 月 18 日 (金) ～令和 2 年 10 月 16 日 (金)

【審査結果】 309人が投票(1,425票) 199作品⇒ 49作品を選定

2次審査  
(景観づくり勉強会)

【審査員】 景観づくり勉強会参加者

【投票日】 令和2年11月27日(土)

【審査結果】 10名が投票 49作品⇒ 25作品を選定

最終審査  
(景観計画策定委員会)

【審査員】 竹原市景観計画策定委員会委員

【投票日】 令和3年3月15日(月)

【審査結果】 自然景観、歴史文化景観、都市景観ごとに投票を行い、25作品から17作品を選定